

事務事業名	中村地区子ども会育成会連絡協議会運営事務			担当	教育委員会 生涯学習課 中村分館			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-82-2902		
施策名	3	青少年の健全育成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	社会教育法				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47年度～）			
予算科目					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	子供達の連帯感や責任感、自主性を育むための単位子ども会育成会活動を活性化させるとともに、子供達の健全育成を目的に組織化され、次の事業を実施している。 ・リーダーキャンプ研修（5年生対象、1泊2日） ・球技大会（ドッジボール、小学生全員対象） ・バス研修（中学生対象） ・会長会議							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 総会・役員会を年1回、単位会長会議を年5回開催するほか、各種事業等の企画立案・資料作成・通知発送と取りまとめ、事業実施の際の随行指導、補助金交付事務をおこなう。 なお、5年生のリーダーキャンプはにのみや野外活動センターを利用して実施した。 ・単位育成会17団体 ・総事業費584,626円（市連より補助金106,000円）  25年度計画 前年度に同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称							
	ア	会員数	人	747	737	771	785	806
	イ	会議開催数	回	6	7	7	7	7
	ウ	事業実施数	事業	6	6	5	5	5
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 中村地区の子ども会育成会及び加入小中学生	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称							
	ア	育成会の数	団体	17	17	17	17	17
	イ	小中学生の数	人	771	764	801	824	863
	ウ	事業参加小中学生数	人	461	454	477	452	500
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 単位子ども会育成会の連絡協調やリーダー育成とともに小中学生の健全育成を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称							
	ア	育成会の事業参加割合	%	100	100	100	100	100
	イ	地区小中学生の事業参加割合	%	59.8	59.4	59.6	54.9	57.9
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 単位子ども会育成会活動の活性化と小中学生の健全育成。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称							
	ア	地区小中学生の子供会育成会加入率	%	96.9	96.5	96.3	95.3	93.4
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	106	106	0	
	事業費計(A)	千円	0	0	106	106	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	0
		人件費計(B)	千円	973	1,024	1,018	1,008	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	973	1,024	1,124	1,114	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	育成会相互の連絡協調と活動の活性化を図り、子どもたちの健全育成を目指すために組織化した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	学校週5日制のもとで少子化や家庭の教育力低下が進んでおり、家庭・地域・学校の交流が求められている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	学校週5日制での休日の過ごし方も多様化しており地域で活動が難しいとの意見もある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 子供の健全育成は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域づくりのリーダー育成や子供の健全育成は市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 地区内の全小中学生を対象とし、地区内の子ども会育成会が全て加入する組織である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 単位育成会の連絡協調と子供の健全育成が図られている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 単位育成会の連絡協調と活動の活性化が図られない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会の運営に必要最小限の補助金である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 毎回参加者負担金を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							